

2020年 新年あけましておめでとうございます。

今年も「シャトル」をよろしくお祈りします。



12月議会一般質問報告②

加齢性難聴者に補聴器購入の補助を

★現在市で実施されている補聴器に対する補助制度は2種類。

*補聴器給付費制度

年齢を問わず聴覚障害で身体障害手帳を持っている方は、購入費用・修理に補助があり、費用・基準価格の1割負担。平成30年度の実績は計109件。



*難聴児補聴器購入費等助成事業

18歳未満の方が対象で、費用・基準額の1割負担。平成25年度から市単独での補助事業が29年度から県の補助事業となり、市の負担も軽減されることに。平成30年度実績は計46件。

高齢になると人との関りを避けるようになり認知症の原因とも言われている。

認知症予防の点からも市で補助制度の検討をしてほしい。全国で高齢者の補聴器購入の補助を実施している自治体もある。県内では北名古屋市が実施している。

【答弁】難聴の補正を行うことの認知症予防の効果は検証が十分でない状況。国で昨年度から補聴器を用いた聴覚障害の補正による認知症機能の低下の予防について研究が進められています。研究の動向を注視していきます。



高齢者の声 「とても高くて買えない」

人と話をしても聞こえにくくなり、家に閉じこもることが増えてきた。補聴器を買いたいと思っても、片耳平均15万円以上

日本共産党 「国で補聴器の研究をするべき」と要望

3/20 大門実紀史参議院議員は財政金融委員会で「加齢によって起こる難聴は、うつや認知症の原因にもなることが指摘されており、自治体や関係者から要望が出されている。高齢者が社会に出ていく時、補聴器は必需品になる。」



子どものインフルエンザ予防接種に補助を

インフルエンザは、毎年11月下旬から1月にかけて流行が始まり、3月にかけて流行します。今年は、例年より全国的にも県内でも流行が早い状況です。

★現行の市の高齢者対象のインフルエンザ予防接種の施策は？

対象は、65歳以上の方、60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で日常生活がほとんど不可能な方。自己負担は1,200円。
平成30年度 接種者数は51,125人、対象者の50.4%が接種。



★子どものインフルエンザの患者数などは？

*平成30年度 公立保育園1,245人、私立保育園332人、地域型保育事業所55人、計1,632人。今年度 公立保育園84人、私立保育園2人。(12/1現在)
*平成30年度 学級閉鎖 小学校24校・48学級。
今年度 小学校6校・7学級。(12/4 現在)



★子どもがインフルエンザに罹患すると

熱性けいれんや脳症などを併発する、発達障害等の後遺症が残るケースもあり、重症化することもあるため、集団感染を予防するため、予防接種でかからないようにする。

【質問】県内で、子どもへの助成を実施している自治体は？

【答弁】安城市、東海市、大府市、知多市、北名古屋市、あま市の6市。町村も含めると、54団体中11団体で、約2割の市町村です。

【質問】県内で2割の市町村で実施、県内で広がっている。子どものインフルエンザ予防接種に対する助成事業を、一宮市でも検討できないか。

【答弁】助成開始に当たっては、医師など専門家を交えて十分な検討を行う必要です。予防接種法に基づき、実施すべき定期接種に位置づけられるかどうか、国の動向を注視する必要があると考えます。現段階では難しいと考えております。

1回3,000円以上で子育て世代にとって、特に兄弟・姉妹のいる家庭では大変で、接種を控える保護者もいる。子育て世代の応援のため、何よりも子どもたちの健康を守るため、子どものインフルエンザ予防接種への補助を検討してほしい。



繰り返さない為、事実に向きよう part5

9月に訪韓し、日韓の歴史に触れました(全4日間)。報告と感想も今回が最終回。3日目午後から最終日まで報告します。

3日目午後には「安重根記念館」、夕方には3・1万歳運動(独立運動)の打ち合わせが行われたという韓国中央学校で現地の教師の方々と交流しました。



安重根記念館では伊藤博文を「暗殺」した安重根の展示が行われています。まるで「反日」の代表者と思われているが、韓国を良くするため、文武をたしなんだ人物。現地の方にとっては日本帝国との戦争中であり、独裁主義の日本帝国に反抗した行動であったことや残された書等から理知的な方であったことを思わされました。

韓国中央学校では3・1万歳運動の打ち合わせを行った施設や歴史の経過を現地の教師の方から教わると共に、韓国の歴史教育について知る機会となりました。歴史の事実を伝えることと一緒に考えることも重視しているという方々で、日本の歴史教育がこういうものになればと思われました。人権が守られる環境の中で過ごすことで、人権意識が芽生えるという発言や、社会科の教育の目標が「社会(世界)市民を育てること」であることと明言して、生徒と共に一緒に考えて、悩んで、行動しようとしている教師の方々と交流となりました。



現地の教師の方と交流。左端はガイドの方。

4日目には、労働運動の大きな転機を作り出したチョンテイルの記念館と、民主化運動の中で犠牲となり、たくさんの人を動かすきっかけとなったイハンヨルの記念館を訪れました。

チョンテイルは平和市場の縫製工場の女工さんたちの労働条件改善のために立ち上がり、労働運動を進める中、証拠がないと取り上げられず、勤労基準法が守られていないことを訴え焼身自殺した人です。記念館では当時の縫製工場の職場状況が再現されていて、狭い中に詰め込まれて働いていた状況が想像出来ました。窓を開けて作業していた工場が、政府の施策の中、窓を開けることを禁じられ、健康被害が広がります。

その中でチョンテイルの取り組んだ活動などが紹介されていました。彼の人生は人のために自らをなげうつというものでした。とても残念な事ですが、日本でも自殺などで死者が出ないと社会問題とならない現実があります。本当に一人ひとりが大切にされる社会にはどれだけの血が必要なのか・・・彼が行ったアンケートからは「事実の重み」の大切さも気づかされました。

イハンヨルは、民主化闘争を弾圧する警察が発射した催涙弾を受け、1か月間死線をさまよった後に死亡した。「行動する良心」この言葉が印象に残っている。イハンヨル氏は80年光州のことを知って、行動する中で犠牲となったが、彼と民主抗争は大統領の直接選挙制を勝ち取った。当時の民主化弾圧の犠牲者が彼のみではなく、たくさんいたことも知ることになった。日本の人たちは行動する良心に恥じない行動をしているのだろうか、自分は呼び掛けているのだろうか。知らないことも罪だが、知って行動しないことに良心の呵責はないのか？韓国では行動する中でかちとってきたものがたくさんある。



平和市場のチョンテイル像

訪韓しての感想 4つのことに触れたいと思います。

- ①戦争によって常識がゆがめられ、その中で沢山の人が苦しみ・犠牲となり、社会や教育がゆがめられ、後々まで問題を残している
- ②事実を知り、行動することが社会を変える第一歩
- ③日本と韓国で同じ思いの人が共に各々の立場で頑張っている仲良くなる！
- ④韓国の人には「日本人嫌い」ではなく「今の日本政府嫌い」



現地での食事(一例)。どんな料理でもキムチが付きました。朝のバイキングにも。

あと、料理もおいしかった(舌が痛いほど辛いのもあります。注意)し、韓国のみなさん好意的でした。海は隔ていても隣の国。お互いのことをもっと知り、交流することが必要ではないでしょうか。

(わたなべさとし)

